

『図解でわかる14歳から知っておきたいAI』

インフォビジュアル研究所著, 太田出版 2018.1. 3F 図書(007.13// I54)



欧米人にとって、ロボットは敵対者。日本人にとっては「友達」なんだそうです。宗教観の違いはもちろん、日本にはアトムがいるからだとか。AI技術の進化過程とその基礎知識が図解で楽しく学べる、AI入門におすすめの1冊です。

紹介者：塩入

あの人の生き方 - 考え方

🕒 明日を歩く、ナビガイド 11月展示

時代が大きく変化していく中で、自分はどう生きていきたいか。さまざまな分野のトップランナーたちの考え方や、人生のヒントとなる指針本を紹介します。



オンラインで開催される「第23回 図書館総合展」に今年も図書館学生アドバイザーがポスターを出展します。(11/1~30日)

仕掛けが
いっぱい!
見に来てね♪

図書館・キャリアサポートセンター共催データベース利用講習会

就活に役立つ最強ツール 教えます!

11.4(木) 4限 東洋経済 DCL
プロが教えます!
『就職四季報』で企業を知ろう

11.18(木) 4限 日経 テレコン
OB情報も探せる!
新聞・雑誌記事で
キミだけの企業を探そう

オンライン開催

オンライン 薬学部・理学部化学科おすすめ

12/2(木)4限 SciFinder-n利用講習会

化学物質文献検索の超基本



申込

あなたの声が
いまの、未来の図書館を
より良い場所にします。

11/15~12/18
図書館サービス向上
のためのアンケート2021

■回答時間 約3分。
■Web上のフォームで
回答できます。



Part 2
ブックハント2021

ブックハンター
募集中!

読みたい本が
図書館に入るかも?!

11.15 - 11.27

詳しくは
コチラ

11/24(水)
3限
オンライン開催

出版営業の醍醐味

—好きなものを売る仕事

講演者
筑摩書房
営業部次長
河内秀憲 氏



図書館で買う本を選ぶ
ブックハントもやるよ!



発行：城西大学水田記念図書館
350-0295 TEL:049-271-7736 mail: library1@josai.ac.jp
埼玉県坂戸市けやき台1-1 FAX:049-286-8126 URL: https://ibopac.josai.ac.jp/

P.1 巻頭言 P.2-3 ビブリオバトル2021 in 城西大学
P.4 図書館員のおすすめ、インフォメーション

『サンチョ・パンサの帰郷』 — その<無防備な君の空>の行方 —

語学教育センター 教授 小堀 隆司

<一篇の詩が君に囁きかけてくる>、このことについてしばし思いを巡らしてみよう。いまから時代を遡ること、1963年12月25日『サンチョ・パンサの帰郷』と銘打って初めての詩集を世に問うた石原吉郎は、「位置」という詩をその巻頭に掲げてこう歌います。

しずかな肩には
声だけがならぶのでない
声よりも近く
敵がならぶのだ
勇敢な男たちが目指す位置は
その右でも おそらく
そのひだりでもない
無防備の空がついに挽み
正午の弓となる位置で
君は呼吸し
かつ挨拶せよ
君の位置からの それが
最もすぐれた姿勢である

シベリア抑留という苛酷な体験を背景にして創られた42篇の詩から成るこの第1詩集(「位置」の初出、詩誌『鬼』第30号、1961年8月)は、そうした歴史的事実を厳しく受けとめつつ言うなれば<シベリア詩篇>として読まれてきた。終戦後の1945年12月末ハルビンでソ連軍に抑留された石原は、1949年2月カラガンダ臨時法廷においてロシア共和国刑法58条6項(反社会行為、諜報)の罪状をもって起訴され、一方的に重労働25年の判決を言い渡された。かくして彼は極寒のシベリア密林地帯へと強制輸送され、その年の10月から翌年9月までバム強制収容所で耐え難くも苛酷な労働に服し、さらに幾つかの収容所に送り込まれた。心身とも凍える日々がいつ果てるともなく流れ去る極限状況のなか、1953年3月スターリンの死去に伴って恩赦を受けた石原はついに祖国日本への帰還をその11月に果たした。

そもそも詩の言葉には様々な解釈の可能性を許容する器が備えられている。つまり読み手は詩の言葉に誘われて自分のイメージなり解釈を膨らませながら独自の詩空間を創り出す。この「位置」にあっては、たとえば評者たちに「銃殺刑の場面」、「キリスト磔刑の情景」、「軍隊の<位置につけ>」、「石原の現在の位置のメタフィジカ

ルな表現」といったようなイメージや解釈を喚起させている。さらに、読みの可能性として次のような解釈をここに披露しよう。——事もなげに移りゆく日々のなかで「しずかな肩」をした私のそばには、思いやり優れ「声」をかけてくる人たちがいるけれど、時によく見ると、優しい「声」さながらに甘言を囁いて強圧を仕掛ける優越者である「敵」がもっと近くにいるのではない。しかし、その優しい「声」からもその優越した「敵」からも超越した自在なる「勇敢な男たち」がいて、彼らは超越者であると同時に人の心の奥底に潜在している。彼らは未だに存在しない、言うなれば<未出現>の、さらに言えば絶対的な理想を身に纏った架空の人間にほかならない。彼らは自ら目指すその生の極点たる「位置」に自覚的である。そんな「勇敢な男たち」の存在を予感しながら、私は「無防備の空」を曝け出して生きてきた自分を超越するべく「挽み」おこななければならない。そのとき、「正午の弓」は新たな生を生きるための、私にとってはかけがえのない指針たるべき「位置」となるのだ。しかし、理想に据えられたその「位置」とは、大志を抱いた理想でも労苦の末に実現した理想でもない。それは日常にあって何気なく「呼吸」しては「挨拶」するといった、いつもと変らぬ風景のなかに蠢いているのだ。こうした日々の振舞いこそ、何にもまして「すぐれた姿勢」としてあるのではないのか。——

詩人は自ら紡いだ詩の言葉を読者に向け、いや、もしかしたら自分を虚しくして「無防備の空」に向かって囁いているのかもしれない。「位置」という詩を巻頭に配した『サンチョ・パンサの帰郷』(勿論、他の詩集も含めて)は、『鬼』の同人であった大野新の評言にあるように「その現実から垂直上昇する一種不可解な断定の一行の美しさ」(「石原吉郎論」、『沙漠の椅子』)をそれぞれ身に纏っている。石原吉郎の紡ぎ出す言葉は従来のいかなる意味をも拒絶するかのように入り着いた心底からの詩の言葉となって凡庸なる私たちが忘れてきたあの地点を目指している。<一篇の詩が君に囁きかけてくる>とは、詩「位置」の場合、こう囁きかけているのかもしれない。たとえば世界が、私たちが、この「位置」からいかに遠く在らぬ方へと驚進していることかと断罪されたにしても、「位置」という一篇の詩を読んだ君

Book Mark 2021.11 vol.146

は、その在るべき「位置」に立つ日を求めつつ待ち望んでいたまえ、と。それにしても、詩集の「あとがき」に次のような逆説に充ちた言葉を刻んだ石原吉郎は果たして何を伝えようとしているのであろうか。

<すなわち最もよき人びとは帰っては来なかった>。<夜と霧>の冒頭へフランクがさし挿んだこの言葉を、かつて疼くような思いで読んだ。あるいは、こういうこともできるであろう。<最もよき私自身も帰っては来なかった>と。今なお私が、異常なまでにシベリアに執着する理由は、ただひとつそのことによる。私にとって人間と自由とは、ただシベリアにしか存在しない(もっと正確には、シベリアの強制収容所にしかない)。日のあけくれがじかに不条理である場所で、人間は初めて自由に未来を想いえがることができよう。条件のなかで人間として立つのではなく、直接に人間としてうずくまる場所。それが私にとってのシベリアの意味であり、そのような場所でじかに自分自身と肩をふれあった記憶が、<人間であった>という、私にとってかけがいのない出来事の内容である。

「あとがき」は人間の立つべき位置を複雑な思いで伝えている。伝えられた私たちにあっては、彼の言説をどう受けとめるかという解釈はさて置き、彼の言説がこの時代に生きる私たちをどう見ているのか、その姿勢は人類史へのほんの僅かな貢献に資するかもしれない。さて、一篇の詩が囁きかけたいま、君はその<無防備な君の空>にどのような位置を描けるだろうか。

推奨図書としては『サンチョ・パンサの帰郷』、『石原吉郎詩集』および『新選石原吉郎詩集』(以上、思潮社)、加えて主に抑留体験を綴ったエッセイ『望郷と海』(ちくま文庫)を挙げるとともに、アウシュヴィッツ強制収容所の体験を記録した『夜と霧』(E.V.フランク著、みすず書房)も手にしてもたらいたい。

紹介された本は図書館の1階で展示しています。

『サンチョパンサの帰郷』、『石原吉郎詩集』、『新選石原吉郎詩集』、『望郷と海』(『さまざまな8・15:夏』集英社収録)、『夜と霧』

- 9/8・9 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE) 2021年度版元提案説明会(オンライン)に参加
- 9/30 JoVE利用講習会(オンライン)
- 10/6 ビブリオバトル2021 in 城西大学(オンライン)
- 10/14 医中誌Web利用講習会(オンライン)

- 10/21 メディカルオンライン利用講習会(オンライン)
- 10/28 JDreamIII利用講習会(オンライン)
 - オープンキャンパス 9・10月(9/26・10/31) 図書館見学者148名、キーワードラリー参加者79名
 - 見学(10/27) 高校生保護者14名



卒論応援キャンペーン
やっています

オンライン相談も、やっておりますよ → <https://bit.ly/3arFqnj>



カレンダーは図書館HPをご覧ください。



図書館HP <https://libopac.josai.ac.jp/>



図書館Twitter https://twitter.com/lib_josai

ビブリオバトル2021

in 城西大学



10月6日(水)、学内チャンプ本を決定する「ビブリオバトル2021 in 城西大学」をオンライン開催しました!! ビブリオバトルとは、制限時間5分間でおすすめの本を紹介しあう書評ゲーム📖 今年の発表者は6名です!!



現代政策学部 2年 菅谷さん



『覚悟の磨き方』池田貴将編訳 サンクチュアリ出版,2013.



現代政策学部 3年 勝野さん



『ローカル線で地域を元気にする方法』鳥塚亮著 晶文社,2013.



数学科 1年 荒井さん



『スイッチを押すとき』山田悠介著 角川書店,2008.

*図書館では河出文庫版を所蔵しています。



現代政策学部 2年 佐藤さん



『絶歌』元少年A著 太田出版,2015.



現代政策学部 2年 小泉さん



『なぜ僕らは働くのか』池上彰監修 学研プラス,2020.



現代政策学部 4年 高橋さん



『奇跡のバックホーム』横田慎太郎著 幻冬舎,2021.

5分間の書評ゲーム



VS



今年戦いを繰り広げたのはこの6冊だ!



79名の視聴者が観戦し、チャンプ本を決める投票が行われました! 結果は...

チャンプ本 『なぜ僕らは働くのか』 池上彰監修



準チャンプ本 『覚悟の磨き方』 池田貴将編訳



チャンプ本を獲得した小泉さんに、イベントを主催した学生アドバイザーがインタビューしました

今のお気持ちは?

うれしいです。この気持ちを庭田先生に伝えたいです。

今回のビブリオバトルに出場するにあたり、努力したことや苦労したことは?

努力したことは就活の不安へのヒントをどれだけ見つけられるかということです。苦労したことは特にないかな。

実際に発表をして、自分の良かったところや悪かったところは?

良かったところは自分の言葉でスラスラ言えたところです。逆に悪かったところはオンラインということから画面のどこを見たらいいかわからなかったところで、今後改善していきたいです。



「大学ビブリオバトル・オンライン大会2021」準決勝戦への意気込みをお願いします。

出るからには優勝をしたいと思います!

小泉さんは「大学ビブリオバトル・オンライン大会2021」準決勝戦へ出場します! 応援をお願いします!!



かんぱれ



今年も熱い戦いが幕を閉じました! みなさま、来年はぜひ発表者としてご参加ください



イベント終了後に、みんなでパチリ

今回私は司会進行を務めさせていただきました。序盤ネットワークのトラブルにより、運営は混乱状態でしたが、職員さんと協力して、無事時間内に終わらせることができました。またバトラーの皆さんの発表を聞き、発表の内容はもちろん、声の抑揚や姿勢、オンラインということからジェスチャーなどを交え、聞き手にどれだけ伝えることができるかというバトラーの気持ちが伝わり、私自身とても勉強になりました。



経済学部 3年 外岡